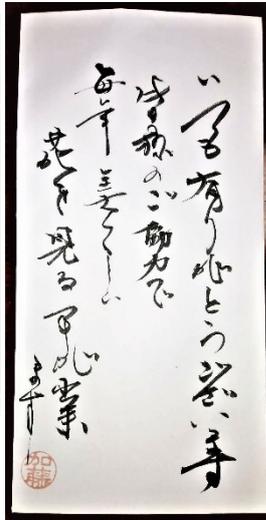




神の倉山は標高561m。山の頂上付近一帯を公園として整備したのが「神ノ倉山公園」です。6月にはハンカイソウが谷を埋め尽くし、黄色の絨毯となるでしょう。長年管理されておられる加藤さんは「私の誇りです。みなさんのおかげで、見事なハンカイソウが咲きます」とおっしゃって下さいました。



神ノ倉山をこよなく愛する加藤さん。右のお手紙も。「いつもありがとうございます。皆様のご協力で毎年美しい花を見る事が出来ます。加藤」



草刈りを終えたハンカイソウ咲く谷。

久しぶりの例会担当！早朝6時起床で7時出発。道路沿いに咲き誇る「彼岸花とススキ」に癒されながら一路神の倉山へ…。進入路の3か所に目印の幟を設置し8時半に現場到着一番乗り！と思いきや、そこには黙々と道路を掃く加藤さん。私たちが来るからと綺麗にされていたのです。その姿はまるで仙人のようでした。その後、次から次と到着するメンバーに手伝ってもらい会場設定を終え、開会式に備えます。8時半から9時半迄に各班のリーダーへ担当現場の説明を済ませ、同時進行で班員による受付とコロナ対策で体温測定と記録を実施。

定刻の9時半開会式で「神の倉山」の管理を担っておられる加藤さんと山本理事長の簡潔な挨拶を頂いた後、スケジュールに沿って班編成及び作業内容を確認し、掛け声によるラジオ体操…。各グループによるオリエンテーションの後、10時頃から作業に入る。刈払い機とチェーンソーの高回転音の中、午前中はメンバーの協力した作業で、事故なく無事に作業終了。

12時からは各々がソーシャルディスタンスを保ちながら休憩昼食。デザートには原田(澄)さんから「ポポー」の実の提供がありました。食べ損ねた人は10年後に秋武まで言って下さ～い。我が家で苗が育っています。

さて、午後からの作業でB班は、午前中に作業を達成したA班から支援を受け作業を達成。また、C班は丸山展望台の「アセビ(馬酔木)」の除伐と丸山展望台周回道他草刈りを終了し作業を達成。D班は午前午後共に丸山展

望台の景観をよくする為に「手のこ」だけで「アセビ」等の雑木をひたすらに除伐したのです。頭が下がります。

14時20分頃に全ての活動を終了し、自分で使った道具の手入れを済ませた後、反省会を実施。ヒヤリハットの報告はなく、本日の例会初参加の真鳥華苗さんには「初めてで昨夜は、緊張して眠れなかった」、柴田勝実さんには「初めてで不安だった」、学生ボランティアの岩田海莉さんは「初めての経験だったが楽しめた。」また大野美咲さんには「安全に楽しめたのでまた参加したい」とそれぞれ嬉しい感想をいただきました。

担当班長からも一言、初参加者の皆様から「二度と参加しません！」との言葉が無かった事、「仙人の加藤さん」からの差し入れ、皆さんに心から御礼申し上げます。くれぐれもお元気で～！またの参加を首を長くしてお待ちしてま～す！



例会初参加のみなさん。真鳥さん岩田さん大野さん柴田さん